

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、兵庫県内で1週間当たりの感染者数が過去最多の1791人（1日平均255・9人）に上った。今月5～11日の感染経路（判明分）で、家庭での感染が6割以上を占めたことが分かった。感染経路は半数以上が調査中だが、医療機関や福祉施設のクラスター（感染者集団）が多発した昨年11、12月と比べ、傾向の変化が顕著となった。年末年始の帰省などの影響があると思われる。（井川朋彦）

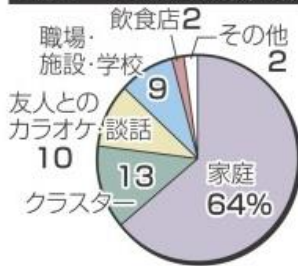
感染拡大の「第3波」で、判明分は、県内で昨年11月に36カ所のうちクラスターが4割台所、同12月に47カ所のクラスターが発生。こうした影響から、11月1日～1月4日、だが1月5～11日の判明

# コロナ家庭内感染6割超

## 県内患者急増、帰省影響か

今月5～11日

1月5～11日の感染経路



分では、家庭が6割強を占め、クラスターは1割強に。クラスターと家庭の割合が逆転した。「友人とのカラオケや談話」の割合も、同5日以降の1週間は1割を占め、増加傾向だった。

感染者急増の要因について、井戸敏三知事は12日の会見で「クリスマス前後に人出と飲食の機会が増え、家庭に（ウイルスが）持ち込まれたのではないかな

どと述べていた。

1月5～11日の感染者（1791人）の年代内訳は20代が17・9%で最も多く、50代、40代が15%前後で続いた。全体では50代以下が7割を占めた。

また、同時期の感染者数を人口10万人当たりで換算すると、政令・中核市の発表分では尼崎市が54・0人で最多、西宮市が40・8人で続き、阪神地域が目立った。神戸、姫路、明石市はいずれも30人台だった。

県所管分では、医療機関から届け出のあった健康福祉事務所別で、最多は加古川管内（東播2市2町）の41・9人。2番目は伊丹管内（伊丹市、川西市、猪名川町）の31・8人だった。

名前【 】

①今月5～11日の感染経路（判明分）の割合を円グラフから書きましょう。

家庭での感染  %

クラスター  %

友人とのカラオケや談話  %

②11月1日～1月4日の感染経路の割合を書きましょう。

クラスターが  割台半ばを占め、

家庭は  分の1程度だった。

③感染者急増の要因は、何が考えられますか。

④自分たちでできる対策を考えましょう。